

折に触れ 四字熟語

NO. 264 『白手起家』 はくしゅ きか

< 意味 > 基礎のない状態から、一代で事業を盛んにすること。「白手もて家を起こす」と訓読する。

表 言 : 白手起家の企業家

語 釈 : 「白手」は素手のこと。「起家」は家を繁栄させること。

一 言 : 中古車販売店の「ビッグモーター」の問題が大きく取り上げられています。該社は退任した元社長が山口県岩国市で起業し、一代で業界トップにまで押し上げたようです。しかしながら、今回の不祥事により彼の立志伝は汚辱にまみれたものになってしまったと云えるでしょう。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」